

### 手もとりあて



鮮やかな、赤紫の花  
(常総市にて撮影)

そのままがいいよ

施設長 小川内秀樹

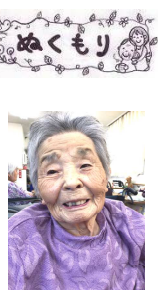
聞こえてるよう。きつと。そうだな。(目は閉じてるけど)この顔つきはそうだな。うなずいたような気もするけど。あつ、目開けた。あつ、手うごかした。シャッターチャンス。102歳。ちよつとやそつとでは、動じない。落ち着いてる。どつり構えてる。薄目を開けて、こちらを見て、少し手を振ってくれるようなあたり、さすがです。誕生日のベストサイドは、真夏の日差しに、差し込まれていないが、温かい。四日前に退院してこれ、この日この時に、時間が空間を共に過ごす事の幸せ感は、きつと想像するに難くはないだろう。いてくれるだけで、ほつとさせてくれるのは、そのままのあなたでいてくれて、ありがとうという思いが満ちているからだと感じた。ホームページブログに掲載。毎日、世界では、様々な事々が進んでいく。私たちの耳に聞こえてくるもの、目にさらされてくるもの、日々その情報量の多さに、ついていけない不安と焦りを強制的に感じさせられるような気分、繰り返して、なるのではないだろうか。夏は日の入りが遅い。夕陽が沈む時間帯も目を向ければ、そこに青い空と雲、夕陽が混ざり合う色彩を見せてくれる。緑の田に雫を感じ、足元の花の一輪、群生、家路につく鳥たちのさえずりに、ありのままを感じる時の安心感。童心と今、何も変わらず、そばにいる。

### 七月のボランティア

協力牧師の方々(日曜礼拝)※現在、感染対策の為、ボランティア様の受け入れを中止しています。



(NO416)  
特別養護老人ホーム  
筑波キングス・ガーデン  
0297(24)5139



石家縫子様の紹介

成島栞子様(長女)

母縫子は、昭和七年七月六日、八人兄弟の次女として生まれました。九十一歳になります。年一回、長男の家に集まるなど、仲の良い兄弟です。若い頃は、靴の工場で近所の友達とお仕事をしていました。家の靴も修理していたのを思い出します。

母は、旅行もいろいろな所に行きました。旅行先で見つけた花は、家でも育ててきました。畑の一部が花で占領された事もありました。毎年花が咲き、母を思い出します。一部私の庭に植えて、夫が育てています。猫が苦手で、テレビは野球やそのど自慢を、好んで見ていました。いろいろな歌手の方のショーを見に行っていました。一度も、母の唄っている姿を見た事はありません。もっぱら、父のワンマンショーです。父が亡くなったから、一人暮らしの生活が始まり、病氣とは、縁のなかつた母も、元気がなくなり、笑わなくなり、骨折などで、入退院を繰り返してきました。軽い認知症も出てきました。

そんななかで、キングスさんを知り、デイサービスからお世話になり、目にみえて、明るくなり、楽しそうに「みんな、やさしい」と母は何度も言っていました。今後の事を考えていた時、介護士さんから「お母さんが、キングスさんに、お世話になりたい」と言っているのを聞きました。娘には娘の生活があるからという事でした。私は心が痛くなりました。娘として、母の介護をしなければいけないですが年をとって、老老介護になり、介護うつになりかねないです。一人で抱えられない介護だと実感します。お世話をさせて頂いている皆様、感謝で一杯です。ありがたうございます。これからもよろしくお願ひ致します。

### ショートステイ運動会

ショートステイヘルパー 岡田哲弥

六月二十一日、ショートステイにて、小さな運動会を開催し、玉入れを行いました。ショートステイは、日替わりで利用者が替わる中、当日十六名の利用者全員に、参加して頂き、玉入れを行いました。無我夢中に玉入れを楽しみ利用者の姿がとて目象的でした。玉入れの後は、管理栄養士によるフルーツジュースの提供があり、季節の果物である、メロン、バナナを楽しみました。どつちが良いか選んで頂きましたが、皆さん両方を選ばれており、「美味し、美味しい!」と大変、喜ばれていました。大規模なイベントを行うことはまだ難しいですが、今回のように利用者が喜んでくれるようなイベントを、今後も行っていきたいです。

本格的な果物と準備!

白熱の玉入れ合戦!

職員にはぶつけないでね(笑)

果汁100%ジュース

### 誕生会

虹の架け橋ヘルパー 栗崎あゆみ

キングスガーデンでは、利用者の誕生日にお祝いをします。皆様で、「いつくしみ深き」を歌い、その方の生い立ちやエピソードを紹介。職員から感謝の折り、プレゼントを渡すと、しっかりと挨拶する方、涙を浮かべる方など、様々な反応があります。大切な、ご利用者の誕生日。これからも、心を込めて、お祝いさせていただきます。

みんなで記念撮影

ご利用者の生い立ち紹介

相談員日誌  
「Livin' on a prayer」 宮本真次  
気持ち疲れてくる。と見る動画がある。イギリスロンドンの地下鉄の車内から来る目も来る日もボンジョヴィの名曲「Livin' on a prayer」を熱唱する通称「ボンジョヴィおじさん」。  
このおじさんのこの歌に対する情熱は相当なもので、乗り合わせた見ず知らずの乗客を一人また一人引き込み、最後は乗客全員で大合唱となる。  
又、別の日に公園のベンチで同じ様に熱唱。ここでも公園に居合わせたら人全員を引き込み最後は大合唱となる。  
この一体感が心にジワリ、幸せな気分がいつも一緒に歌ってしまおう。コロナ禍で忘れかけていた感情がここには存在する。  
「Livin' on a prayer」 「感染症や不毛な戦争等に負けずに、明るく楽しく過ごせる事が当たり前になる事を願ひ、祈る様な気持ちで毎日生きていく...」。

たとい、死の影の谷を歩くことがあつても、私はわざわざいを恐れません。あなたが私と共にいられますから。  
詩篇三編四節

### 郷土料理(福井県)

虹の架け橋ヘルパー 岡野太孝

六月二十六日のお昼に、鮮やかな色合いと風流な雰囲気を持つ、福井県の郷土料理を、ご利用者が召し上がりました。料理の献立内容は、かにちらし・ごま豆腐・めかぶとろろ・煮豆・ブルーベリーパバロア・越前そばでした。どれも美味しそうな料理で、ご利用者の皆様は、彩りを楽しみなが美味しく召し上がっていました。  
行事が今なお制限される中、彩りのある、福井県の郷土料理を、召し上がって楽しまれた事は、ご利用者の生活にとつても、彩りが加わった出来事だと思えます。  
次は、どの地方の郷土料理が食べられるか、皆さん、楽しみにされていました。

彩り鮮やか!

これはご馳走だね~

ご機嫌です!

ちらし寿司が美味しそうね~

七月

- 一日・九月・十六日・二十五日・三十日
- 四日・十日・十七日・二十四日・三十日
- 六日・十三日・二十日・二十七日
- 七日
- 十四日
- 十六日
- 二十日
- 三十一日

【八月】

- 一日
- 三日・十日・十七日・二十四日・三十日
- 六日・十三日・二十日・二十七日
- 八日
- 十五日
- 十七日
- 二十日
- 二十四日

【七月の誕生会】

- 石家 縫子様 九十一歳
- 中島 とめ様 百二歳
- 栗崎 勝三様 六十一歳

Happy Birthday

お誕生日おめでとうございます。

日曜礼拝  
ジャズミン(理美容サリース)  
カズミ(移動販売)  
日曜礼拝  
夏祭り  
お楽しみケーキ  
大生園発表  
防災訓練

日曜礼拝  
ジャズミン(理美容サリース)  
カズミ(移動販売)  
日曜礼拝  
夏祭り  
お楽しみケーキ  
大生園発表  
防災訓練

三年前から予定していたスイス旅行、今、雪のマッターホルンを目の前に圧倒されるばかりです。その反面、どこへ行ってもお年寄りとお年寄り、アイコンタクト。君はどこへ行ってもお年寄りとお年寄りになるね。と主人に笑われています。  
お互い八十歳、私達も高齢者、これが二人で旅行する最後の海外旅行、主人の調査の邪魔をしないように、静かに山に話しかけています。ほほえみの原稿になりましたが、写真も送ります。主にいのりつつ...

マッターホルンを目の前に  
理事長兼総合施設長 宇都宮和子

陽の光を浴びる  
マッターホルンと雲海